

選考委員名簿

みやぎ選考委員会

選定委員（委員長以外五十音順）

●委員長

長谷川 公一	MELON理事長 ストップ温暖化センターみやぎ センター長 東北大学大学院文学研究科教授
遠藤 智栄	プランナー・NPOアドバイザー
斎藤 恭紀	東北放送株式会社・気象予報士
菅谷 匡	みやぎ環境カウンセラー協会理事長 地球温暖化防止活動推進員

高橋 一夫	東北労働金庫理事長
高橋 総一郎	宮城県環境生活部環境政策課課長
西川 善久	河北新報社取締役編集局長
藤井 黎	前仙台市市長
盛 朋子	株式会社 宮城テレビ放送
山田 晴義	宮城大学副学長

講評



長谷川 公一

全国でも稀な大激戦を制して宮城県知事賞に輝いたのは、塩釜市団地水産加工業協同組合です。揚げかまぼこ製造時に出る大量の廃食油をバイオディーゼル燃料に転換し、輸送車や公用車等で利用し、さらに島との渡船の燃料にも導入しようという、エネルギーの地産地消の取り組みです。水産練り製品生産量日本一という「魚の町」の地域特性を活かした、海から陸へ、陸から海への地域循環型の取り組みが高く評価されました。

廃食油から転換したBDFの取り組みは、ほかにもありましたが、その量の多さ・削減効果の大きさと地域循環型という点で、抜群の評価を得ました。



遠藤 智栄

「感動して、涙がでてきたよ!」。コンテストの当日、会場で見学していた知人の言葉です。今回応募があった活動や取り組みは、地域で地球温暖化防止の成果を生み、そしてたくさんの人たちの心を動かしました。私も、温暖化防止が地域や県全体に広がって、まちづくりのうねりになっていることを実感させていただきました。これからの継続はもちろんのこと、新たな活動や取り組みが生まれてくるのがますます楽しみです!

斎藤 恭紀

この冬、多いのが、雨による路面凍結。冬型気圧配置の出現頻度が多くなっていますが、気温が雪が降るほど下がらないので、降っても雨。ただ、冷たい雨なので、雨の後、放射冷却が効くと、一気に凍結します。今年のツルピカ路面は実は温暖化の映し鏡なんです。

今回のコンテストは地域から、地球の発熱を抑えるアイデアがいっぱいでした。国のリーダー達が対策に及び腰な中、皆さんの活動や理念が近い将来、大きな波となって、地球基準になる日も遠くはないはずです。



菅谷 匡

県代表塩釜市団地水産加工業協同組合の皆様には、大いなる祝意を表します。また、選ばれなかった多くの参加団体の皆さんには、その取り組みを中断することなく、更なる発展を遂げその成果を次の機会にお披露目願いたいと思っています。

いまや、地球温暖化対策は、「できることをやればいい」だけでは済まされないところまで差し迫って来ているように思われてなりません。今回応募された皆様の取り組みは、多数の県民に重要なメッセージとなったことでしょう。今後は、県民各自が、各企業が自らの温暖化抑制への取り組みにこれらをどう活かして行くかが大きな課題になることでしょう。



講評

高橋 一夫

今回、「EcoDeスマイルコンテストinみやぎ」の選考委員を仰せつかって、61件の応募書類を拝見した感想は、①学生や自治体、宗教法人・企業・関係団体等多様であったこと。②地域ぐるみの連携した取り組みであること。③県内全域からの応募であること。であり、地球温暖化防止に対する考えが普及していることを実感しました。

さて、10月の「最終選考会」は、会場の熱気に包まれる中公開審査会が行われました。応募者の熱心なアイディアとユーモアに溢れたプレゼテーションはレベルが高く、あつという間の発表でしたが、書類審査では見えてこない新たな発見等もあり、審査委員会では中々絞りきれない状況もありました。「風光明媚」で「気候温暖」な「食料王国宮城」は、県内は勿論、全国的にも知られています。最優秀賞を受賞された「塩釜市団地水産加工業協同組合」様には、来年2月の全国大会において、塩釜市の地場産品の有効活用とエコ活動で地域活性化にも活かされる「三方良し」の取組みを堂々とアピールして下さい。ご健闘を祈念いたします。



高橋 総一郎

県内各地域から、本コンテストに61件もの応募があったことは、宮城県にとっての大きな財産です。企業、行政、個人や団体などさまざまな方々が温暖化防止に向けて率先して行動している、その力強い取り組みの数々に出会えたことは、審査員として望外の喜びであり、温暖化対策を進める行政の一翼を担う者として大きな勇気をいただきました。地球規模で考え、地域で行動することの重要性はますます高まっています。今年参加された皆さんの活動が広がっていくこと、来年はより多くの方々が参加されますことを切に期待しています。



西川 善久

個人から団体、企業、自治体までさまざまな応募があり、地球温暖化防止の取り組みのすそ野がどれだけ広がっているかが県民に分かってもらえた点で、コンテストは大きな成果があったと思う。応募件数も全国最多の61件で、地域の特色を生かした取り組みも多く、温暖化防止に対する宮城の意識の高さがうかがえた。ただ、運動として広げていくためにはレベルの高い実績のある活動とは別に、新しい取り組みを激励するような仕組みも検討していくべきではないかと思う。



藤井 黎

“温暖化”という地球規模の大きなテーマに対し、臆することなく身の回りからの小さな挑戦から始めようとする“勇氣”に、何よりも先ず敬意を表します。それこそが Think globally, Act locallyの真意にほかなりませんし、むしろ Act locally, Change globallyを促す行為と考えます。

着眼の多様性は言うに及ばず、実行主体も個人、家族からグループや企業、学校、自治組織など広範多岐。あたかも「知恵の協奏曲」を思わせるものでした。事業の継続と改善そして普及が期待されます。

盛 朋子

県内には前向きに頑張っている人たちがこんなにもいるのだと、ただただ感心させられっぱなしの日でした。日頃、環境活動情報に接する機会の多い私も、これだけ多様な取り組みを一度に目にするのではなく、取材してみたい活動もたくさんありました。誰もがエコを語る時代になり、異常気象をネガティブに訴えるだけの人々が急増する中、地道に足元を見つめながら一歩ずつ前進する皆さんの姿からは大きな勇気をいただきました。どうかこれからもポジティブに、宮城県を環境先進県に導いてください。



山田 晴義

選考委員を体験して、実に多様な主体が、多様な活動を展開していることに驚くとともに感銘いたしました。それぞれの身近な暮らしの場や職場で環境の問題について考えるからこそユニークな発想が生まれ、個性的な活動が展開されるということがよく分かりました。小さなスタートであっても、真剣に省エネルギーに気を配り工夫を重ねる中で、独創的な発想が生まれ、それが大きな力になるのだと思います。選考会では、優劣をつける結果となりましたが、多様な活動の積み重ねが地球・地域環境を守る大きな力になることから、参加されたすべての皆さんに敬意を表したいと思います。



Media in みやぎ

●公式サイト開設

コンテストの情報がいち早くチェックできる公式サイト。温暖化についてのリンクもあります。



http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/eco/



▲「OH!バンドス」6/7 (写真1)



▲「OH!バンドス」9/5 (写真3)



▲「OH!バンドス」9/14 (写真5)



●テレビ・新聞報道

大会の様子がテレビ、新聞などで報道され、県内の注目がさらに高まってくるのを感じます。

県内大会受賞者への取材では、活動の内容のほか、全国大会への意気込みなども語っていただきました。

▼河北新報 9/15 (写真6)



▲河北新報 8/11 (写真2)



▲河北新報 9/12 (写真4)



▲河北新報 12/5 (写真9)



▲河北新報 10/7 (写真7)



▼河北新報 10/23 (写真8)



▲毎日新聞 12/21 (写真10)

マスコミ報道一覧

日付	マスコミ	内容・団体	備考
2007/6/7	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	第1回選考委員会に関して	写真1
2007/6/22	Date-FM「パンプ・アップ・フライデー」	募集広報	
2007/6/25	県政記者クラブ	募集広報	
2007/8/8	ラジオ3「トワイライトウェーブ」	募集広報	
2007/8/11	河北新報	募集広告	写真2
2007/8/14	河北新報	募集広告	写真2
2007/8/15	河北新報	募集広告	写真2
2007/8/19	河北新報	募集広告	写真2
2007/8/21	河北新報	募集広告	写真2
2007/9/5	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	第2回選考委員会(1次選考会)に関して	写真3
2007/9/12	河北新報	1次選考会に関して	写真4
2007/9/14	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	No.5 仙台市立北六番丁小学校6年生	写真5
2007/9/15	河北新報	県大会一面広告	写真6
2007/9/20	河北新報	県大会一面広告	写真6
2007/9/21	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	No.3 東鳴子ゆめ会議	
2007/9/28	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	No.46 宗教法人輪王寺	
2007/10/1	東北放送「イブニングニュース」	No.14 塩釜市団地水産加工業協同組合	
2007/12/2	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	No.44 リコー東北株式会社	
2007/10/5	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	No.44 リコー東北株式会社	
2007/10/7	河北新報	県大会に関して	写真7
2007/10/7	朝日新聞	県大会に関して	
2007/10/12	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	No.25 ファッションドーム141	
2007/10/20	朝日新聞	No.14 塩釜市団地水産加工業協同組合	
2007/10/22	仙台放送「ムービン」	No.35 株式会社テクノセントラル	
2007/10/23	河北新報	県大会特集記事	写真8
2007/10/26	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	No.22 登米市	
2007/12/8	東北放送「ウォッチンみやぎ」	No.13 NPO TeamBeing	
2007/11/11	ミヤギテレビ「かっぺいのいったりきたり」	No.22 登米市	
2007/11/22	東北放送「ウォッチンみやぎ」	No.14 塩釜市団地水産加工業協同組合	
2007/11/29	読売新聞	No.18 千葉清幸	
2007/12/7	ミヤギテレビ「OH!バンドス」	No.22 登米市	
2007/12/3	東北放送県政番組「新着情報みやぎ便」	No.14 塩釜市団地水産加工業協同組合	
2007/12/4	NHK「てれまさむね」	No.18 千葉清幸	
2007/12/5	河北新報	No.14 塩釜市団地水産加工業協同組合	写真9
2007/12/21	毎日新聞	No.14 塩釜市団地水産加工業協同組合	写真10
2008/1/13	河北新報	No.46 宗教法人輪王寺(広告)	
2008/1/26	朝日新聞	No.14 塩釜市団地水産加工業協同組合	
毎月25日	仙台おもせ 連載	No.13 NPO TeamBeing	

協賛企業紹介

特別協賛



みやぎ生活協同組合

協賛

おいしさを笑顔に

KIRIN

キリンビバレッジ株式会社東北支社



株式会社斎孝



株式会社伸電



東北電力株式会社宮城支社



東北労働金庫



凸版印刷株式会社
凸版印刷株式会社東北事業部



株式会社日専連ライフサービス



明治乳業株式会社東北支店



株式会社リブネット

後援

宮城県 仙台市 河北新報社 NNN 仙台放送局 TBC 東北放送

仙台放送 ミヤギテレビ KHB 東日本放送 Date fm

ストップ温暖化センターみやぎ

宮城県地球温暖化防止活動推進センター

1999年「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき環境庁長官の指定を受け、全国地球温暖化防止活動推進センターが設立。2000年に財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワークが宮城県知事の指定を受け、ストップ温暖化センターみやぎ(宮城県地球温暖化防止活動推進センター)が誕生しました。

宮城県における地球温暖化防止活動の拠点として、環境学習や調査研究、地球温暖化防止活動推進員研修などを行っています。



財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

Miyagi Environmental Life Out-reach Network

財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク——通称「MELON」。誕生のきっかけは、1992年の地球サミットです。環境の保全と持続可能な発展をテーマに179カ国の政府首脳や自治体、NGO関係者が集まったサミット。世界ではこんなにたくさんの人たちが環境を考えている。みやぎでも環境を考え、地球を守りたい——そんな想いから、翌93年に県内5つの協同組合が母体となって、多くの市民や研究者、企業、団体でつくられた環境NGOです。毎日のくらしの中から、地域から、地球でくらす私たちにも取り組めることを広げようと、環境保全活動を進めています。

See you...



温暖化防止活動に、終わりはありません。

エコスマの環も、広がりとつづけます。

来年のエコスマで、
またお会いしましょう。



ストップ温暖化センターみやぎ
(宮城県地球温暖化防止活動推進センター)
財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) 内
〒981-0933
仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5 階
URL <http://www.melon.or.jp/melon/>
TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710



宮城県 環境生活部 環境政策課

〒980-8570
仙台市青葉区本町三丁目 8-1
URL <http://www.ecoinfo-miyagi.jp/>
TEL 022-211-2661 FAX 022-211-2669



この報告書には、有機溶剤を大幅に削減し大気や作業環境にやさしいインキ「大豆インキ」を使用しています。



この報告書を構成する全ての資材と印刷工程は、環境に配慮したものであり、グリーンプリンティング基準に則った製品です。



この報告書(本文)には、古紙パルプを70%含んだ R70 再生紙を使用して環境に配慮しています。



この報告書(本文)には、適正に管理された森林からの生成物を使用して生産された、「森林認証紙」を使用しています。



この報告書(表紙)には、非木材パルプを重量比10%以上使用した紙が使用されています。